

平成 24 年度 事業報告

公益目的事業 1 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

(1) ボランティア研修事業

①ボランティアカフェ

ボランティアの啓蒙・研修を目的に、市内外でご活躍の様々なボランティア実践者をお招きし、コーヒーを飲みながら気軽に語り合う会を、年 8 回開催いたしました。

- ・ 4 月 22 日「市長と語ろう！ こんな街」 参加者数：25 名
- ・ 5 月 16 日「アメリカを変えた黒人女性、ローザパークス婦人」 参加者数：30 名
- ・ 6 月 20 日「いのちの電話をご存知ですか？」 参加者数：20 名
- ・ 8 月 5 日「チャレンジアジア 2012」 参加者数：10 名
- ・ 9 月 16 日「復興支援～できる範囲でも現状が変わる～」 参加者数：23 名
- ・ 10 月 16 日「ケニアの大地から～エイズ予防に奮闘～」 参加者数：15 名
- ・ 11 月 25 日「現地、現物でベトナム支援」 参加者数：10 名
- ・ 3 月 30 日「ことばでできるボランティア」 参加者数：27 名

②Let's 防トレ

地域の防災力強化と災害時のボランティア育成を目的に「もし地震が起きたらどうしますか？」をテーマに消防職員の方に講義をしていただき、その後、「身近で出来る救急法」「避難場所の確認」などの体験実習を行いました。

開催日：6 月 24 日(日) 参加人数：31 名

③あすての日

あすて設立記念日に、賛助企業、登録ボランティアの皆さんに日頃の感謝の意を伝え、さらにあすての活動への理解を深めていただくために、理事長の講話及び親睦交流会を開催いたしました。

開催日：12 月 11 日(火) 参加人数：賛助企業 60 社 103 名 登録ボランティア 7 グループ 25 名

(2) ボランティア広報事業

①ホームページの運営

あすての情報を内外に発信することを目的に、あすてのホームページを自前で作成し運営いたしました。

②あすて通信「むすび」の発行

あすての情報を内外に発信することを目的に、毎月 1 回、通信「むすび」を編集・発行いたしました。また、ホームページ上でも閲覧できるようにいたしました。

③広報・記録

あすての情報を内外に発信することを目的に、事業計画や事業報告等の館内掲示を充実させ、また、リーフレットの作成・発行、記録写真の撮影・保存などを行いました。

公益目的事業2 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

(1) ボランティアグループ活動支援事業

①ものづくり活動

・木工ものづくりグループが中心となって、木工機械室の整備を進め、あすでの備品製作や修繕活動等を行いました。また、森のプレゼントと題し、(株)豊田自動織機の賛助を得て刈谷市の保育園にベンチを12脚、トヨタ自動車(株)の賛助を得て、豊田市の児童養護施設梅ヶ丘学園に下足棚、本棚、踏み台などの製作・寄贈を行いました。

・個人の寄贈により本館内に鉄道ジオラマを設置し、地域の方々に開放するとともにものづくりボランティアによる運営を始めました。

②慰問活動

ボランティアグループが主体となって、福祉施設等での慰問活動(太鼓演奏や民族舞踊等)を年57回程度行いました。

③関係団体協力活動

AHIのオープンハウスやアイシンOBボランティアグループ・ビーウィズの行事等に備品を貸し出すなどの協力を行いました。

④チャリティー活動

・手作り品を販売し、収益を社会貢献活動に役立てることで売り手と買い手双方が気軽に社会貢献に参加できる場として毎月10日にあすてチャリティー10日市を開催しました。

売上総額：853,620円 収益：293,042円(中国植林、東北支援、チャレンジアジア、児童虐待防止、ホスピス支援などに寄付) 出店総数：109 参加者総数：1,059名

・植林活動へのチャリティーを目的に、ボランティアグループ・華豊の友が、あすてにて「曾剣雄の世界」と題したチャリティー絵画展を開催いたしました。

開催日：6月1日(金)～3日(日) 来場者総数：597名 募金額：237,477円

・東日本大震災復興支援を目的として、ボランティアグループ・MAYWINKTASが主体となって、クリスマスチャリティーコンサートを実施。チケット売上の他、かもめの玉子の販売等を通し29,777円を日本ユニセフに寄付いたしました。

開催日：12月12日(水) 参加者数：57名

・年間を通してベルマーク、切手、書き損じはがき等の収集、ミニバザー等の募金活動、利用者へのランチの提供、カフェの運営を通し、1,000,000円を植林、難民支援等に寄付いたしました。

⑤災害支援活動

2012年度の被災地における活動実績はなし。

⑥福祉活動

車椅子や障害を持った方でも暮らしやすい街づくりを目的に活動しているグループ・まねき本舗の活動支援や高齢者の生きがいと社会参加を目的に活動しているグループ・短歌きさらぎの会の活動支援などを行いました。

⑦子育て支援活動

父親の子育て参加を目的に、豊田市男性保育師連盟が主体となって、父親と園児を対象とした連続子育て講座を開催いたしました。

- ・ 5月26日「PaPa パワー」 参加者数：50組
- ・ 6月9日「パワフル父ちゃん」参加者数：16組
- ・ 6月9日講演会「生まれた瞬間から始まる生教育」参加者数：37名
- ・ 8月25日「摩訶不思議闇カレー」参加者数：51組
- ・ 9月22日「ハンターハンター」参加者数：51組
- ・ 10月13日「パワフル父ちゃん2」参加者数：23組
- ・ 12月22日「ECOか～？ハイ！」参加者数：40組
- ・ 12月22日「太陽先生の癒しのピアノコンサート」参加者数：68名
- ・ 2月23日「男祭り」参加者数：47組

⑧環境整備活動

花壇の整備、樹木の剪定、季節の飾り付け等のボランティア活動やたすき活動と呼ばれる館内4S活動を、グループが主体となって進めました。

⑨活動場所の貸与・機会の提供

51の登録ボランティアグループに対し、活動場所の貸与や活動活性化の為の助言、指導等を行いました。

公益目的事業3 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び外国人支援に関する事業

(1) 国際交流事業

①国際スポーツ交流会

スポーツを通じた国際交流を目的に、毎月第2土曜日の午後に、外国人の方が気軽にバドミントンなどのスポーツに参加できる機会を提供しました。

参加者総数：41名

②盆おどり

主体グループの日程調整がつかず、2012年度は未実施。

③「21世紀東アジア大交流計画」ホームステイ受け入れ

5月19日～20日 フィリピンの大学生25名を受け入れ(受け入れ家族12)

12月14日～16日 オーストラリア・ニュージーランドの大学生26名を受け入れ(受け入れ家族14)及びあすてにて交流会実施(参加者数90名)

④国際交流

・大学生企画による国際交流事業として9月15日に「世界の童話フェスティバル」を実施。8カ国31名の外国人が参加し、日本の童話・桃太郎をベースにグループに分かれて脚色・上演いたしました。また、1月27日には日本語学習者と一緒に雑煮づくり、2月17日には「Let's Enjoy Japanese」と題して演劇の上演とお菓子作りを行い、計39名が参加しました。

・草の根レベルの日中友好を目的とした文化交流会として「日中友好のつどい」を開催。日本舞踊の披露や中国舞踊の披露などを行い、豚汁、水餃子を食しました。

開催日：12月2日 参加者数：110名

(2) 国際協力事業

①チャレンジアジア

青少年の国際協力とグローバルな視点を持った人材の育成を目的に、幼い難民を考える会の協力のもと、カンボジアプノンペン近郊の保育所にて稲刈り、遊具のペンキ塗り、交流会などのボランティア活動を実施。また10月より全8回の事前研修を実施。現地活動は12月24日～31日。2013年度4月に報告会を実施。

参加者数：9名(公募により20歳～40歳までの若者を募集)

②難民支援活動

世界の難民の現状を理解し、支援につなげることを目的に、グループが主体となって難民映画上映会を実施。クルド難民を題材にした「君を想って海をゆく」を上映し、また、チャリティーカフェ、チャリティーバザー、パネル展を同時開催。158,629円をUNHCRに寄付いたしました。

開催日：6月17日(日) 参加者数：70名

③中国植林活動

中国内モンゴル自治区での砂漠化防止のための植林活動を2013年4月に実施するための、準備、調査活動等を行いました。

(3) 多文化共生事業

①日本語教室

とよた日本語学習支援システムによる日本語学習の第7期～9期を実施し、3期を通して日本人パートナー36名と外国人受講者53名が、会話を主体とした日本語の習得に励みました。

②日本文化体験デー

外国人に気軽に日本文化に触れていただく機会として、毎月第2土曜日の午前中、生け花や着付けなどを体験できる機会を設け、合計で42名の外国人が参加しました。また、3月23日(日)には、それら日本文化を一堂に体験できるイベントを開催し、7カ国70名の外国人と35名の日本人ボランティアが参加しました。

③日本文化見学会

豊田市街を日本人ボランティアと外国人がともに散策し、交流と街の再発見につなげました。

開催日：12月9日(日) 参加者数：21名

公益目的事業4 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

(1) ものづくりを通じた児童・青少年育成事業

①ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト

豊田市との共催で、繊維、自動車、陶芸のものづくりの技と心を、達人から子どもたちへ伝える事業を実施いたしました。

参加者数：子ども83名 指導員ボランティア136名

(2) 勤労青少年支援事業

①勤労青少年に対する相談対応・指導

あすてを利用する青少年に対し、相談対応、助言等を行いました。

その他事業

①企業研修受け入れ

賛助企業の研修に対し、ボランティア研修の機会の提供などを行いました。